

## 共用とおしアーム 概略仕様書

### 1. 適用範囲

この仕様書は、主として架空配電線路の引通し装柱時における本線支持用および変台装柱時における引下線支持用として支持物に取付けする共用型の腕金（以下、「アーム」という。）について適用する。

### 2. 材 料

アームは、JIS G3101(2010)「一般構造用圧延鋼材」に規定される SS400、またはこれと同等以上の性能を有する材料を使用するものとする。

### 3. 構造一般

アームは良質で丈夫な材料を用い、次の各号に適合しなければならない。

- (1) アームの表面は、滑らかで、使用上有害なきず、錆、変形等がなく長期の使用に耐え得るものとする。
- (2) アームの表面は、全面一様に溶融亜鉛めっき、またはこれと同等以上の防錆処理を施すものとする。
- (3) アームは、別に定めるアームバンド、アームタイにより、柱体に容易かつ確実に取付け、取外しができるものとする。
- (4) アームの断面は四角形（□形）とし、両端は小鳥の入らない防巢構造とする。

### 4. 性 能

アームの性能は、下表のとおりとする。

項 目		性 能
耐 荷 重	水平方向	試験荷重を加えた時、破壊しないこと。
	垂直方向	試験荷重を加えた時、破壊しないこと。
溶融亜鉛めっき		・付着量試験での付着量は 600g/m <sup>2</sup> 以上であること。 ・均一試験では 6 回で終止点に達しないこと。

### 5. 検査・試験方法

#### (1) 外観検査

外観検査は、完成品について目視または手触り等により、傷の有無、仕上り、表示等が、「2. 材料」、「3. 構造一般」、「7. 表示」に適合しているか調べる。

#### (2) 構造検査

構造検査は、完成品について「3. 構造」に適合しているか調べる。

#### (3) 耐荷重試験

試験は「2点荷重载荷による試験」または「集中荷重载荷による試験」のいずれかの試験方法とする。

- a. 2点荷重载荷による試験：水平および垂直方向に4,900Nの試験荷重を加えた時、4項の表に適合しているか調べる。
- b. 集中荷重载荷による試験：水平および垂直方向に9,800Nの試験荷重を加えた時、4項の表に適合しているか調べる。

#### (4) 溶融亜鉛めっき試験

JIS H 0401(2007)「溶融亜鉛めっき試験方法」の5. 付着量試験方法及び6. 硫酸銅試験方法により行い、付着量は 600g/m<sup>2</sup> 以上、硫酸銅試験方法による均一試験では6回で終止点に達してはならない。なお、付着量試験方法については、直接法又は間接法とする。

### 6. 荷 造

アームは、輸送中損傷または変形しないように適切に荷造りしなければならない。

### 7. 表 示

アームには、容易に消えない方法で、次の事項を表示するものとする。

- (1) 名 称
- (2) 製造年月
- (3) 製造業者名またはその略号

以上